

(自己評価等関係)

公表

児童発達支援センターにおける自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター うーたん		
○保護者評価実施期間	2025年1月10日 ~ 2025年1月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数) 57
○従業者評価実施期間	2025年1月10日 ~ 2025年1月25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none">・日頃から子どもの状況を職員と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができている。(はいの回答 89%)・保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われています。(はいの回答 86%)	<ul style="list-style-type: none">・連絡ノート、面談を通して子どもの様子をお伝えしています。・定期的に、面談(電話など)を通して発達状況などについて共通理解ができるようにコミュニケーションを図っています。・保育所等訪問支援を通して発達状況や課題について共通理解を図っています。	<ul style="list-style-type: none">・現在行っている取り組みを継続させながら、より細かくお話を聞けるように取り組んでいきます。・専門職(心理士・作業療法士等)を活用し、より助言等が行われるよう取り組んでいきます。
2	<ul style="list-style-type: none">・活動プログラムが固定化しないよう工夫されているとおもいますか。(はいの回答 95%)	<ul style="list-style-type: none">・子ども達が安心して過ごせるように必要な構造化を行い楽しんで過ごせるプログラムを実施しています。・自己肯定感を高めていくために、プログラムを工夫して実施しています。	<ul style="list-style-type: none">・引き続き、活動プログラムを工夫し実施してまいります。・専門職(心理士・作業療法士等)を活用しプログラム作成を行い、より良い内容のプログラムを構築してまいります。
3	<ul style="list-style-type: none">・子どもは通所を楽しみにしています。(はいの回答 93%)・事業所の支援に満足しています。(はいの回答 86%)	<ul style="list-style-type: none">・子ども達が安心して過ごせるように必要な構造化を行い楽しんで過ごせるプログラムを実施しています。・自己肯定感を高めていくために、プログラムを工夫して実施しています。	<ul style="list-style-type: none">・子ども達の発達の様子を保護者の方と共有しながら支援を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none">・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明について。(説明されていないとの回答 68%)	<ul style="list-style-type: none">・面談等では、子ども達の様子を中心にお話が進んでく為十分マニュアルが説明されていない。・保護者懇談会において説明しているが、参加できていないご家族には十分伝えきれていない。	<ul style="list-style-type: none">・保護者会で説明を行う事は継続し、話をした内容の中に災害マニュアル等の話も記入し保護者の方に報告を行うようにします。・毎月の訓練内容をノート等に記入しお知らせしていきます。
2	<ul style="list-style-type: none">・保育園等との交流する機会について。(わからない・思わないとの回答 70%)	<ul style="list-style-type: none">・他の事業所との交流は少なかった。	<ul style="list-style-type: none">・保育所等訪問支援や園訪問を通じて他の事業所との連携などを図ってまいります。・卒園に向けて児童クラブ、放課後等デイサービスの情報を集めご家族にお知らせしていきます。
3	<ul style="list-style-type: none">・定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信について。(どちらも言えない 77%)	<ul style="list-style-type: none">・連絡の仕方の工夫が必要	<ul style="list-style-type: none">・連絡の仕方が連絡帳のみになってしまっていますので早急にICT化に取り組み双方向での連絡が密に取れるようにしていきます。